

# 「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業

“Opening a New World from the Classroom” Project, Hiroshima



## Phuketwittayalai School



## 福山市立鷹取中学校



### 交流授業

学 年：第1・2学年

単元名：自分のことや身近なことについて伝え合おう。

ねらい：自分の考えを伝えたり、相手の言ったことに反応したりするなど、即興的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

自己紹介、即興的なやり取り



3ヒントクイズ



活動内容：

### ①自己紹介（グループ）

全体会を行わず、ブレイクアウトルームで6つのグループに分かれ、それぞれのグループで互いに簡単な自己紹介を行った。

### ②即興的なやり取り（グループ）

What food do you like?やWhat are your hobbies?など、授業で何度も触れてきた英語を使いながら、相手の好きなことや趣味について質問した。タイの生徒も積極的に色々な質問を行った。また、日本の食べ物やアニメなどについても関心が高く、共通の話題があると盛り上がった。

自分の聞きたい内容だけを一方的に質問するのではなく、話の流れに合わせて、追加質問をするなどの工夫が見られた。

### ③3ヒントクイズ（グループ）

タイの生徒が知りたがっていることなどについて、クイズを出した。タイの生徒は本校の生徒の質問内容を粘り強く聞いて答えを推測し、正解した時には、互いに盛り上がった。

3ヒントクイズでは、相手意識をもって、どのような順番でヒントを出すか工夫するといった姿も見られた。

《接続方法：ZOOM》

### 大切にしたこと

- ・生徒同士でコミュニケーションが図れるよう、グループで交流する時間をできるだけ多く確保した。
- ・相手の顔を見ながらコミュニケーションができるように、タブレットやチャットの使用を制限し、メモも必要最低限の内容を書くだけにとどめさせた。
- ・自分たちが伝えたいことを表現したり、聞きたいことを質問したりできるように、教科書でインプットしたことをアウトプットするためのSmall Talkを繰り返し行った。

### 交流を終えて

#### 生徒の声

- ・自分の英語が伝わって嬉しかった。また、伝えることで自信になった。
- ・タイの生徒は日本のことをよく知っていてビックリした。自分たちもタイのことについてもっと知りたいと思った。
- ・タイの生徒の英語力がすごいと思った。
- ・海外の生徒と交流するのはよい経験になり、色々な話ができて楽しかった。

#### 先生の声

- ・海外校と交流する機会があまりないので、とてもよい機会になった。
- ・最初は、コミュニケーションを取れるか不安だったが、生徒たちの楽しそうな姿を見ることができ、とても有意義な時間となった。
- ・生徒の交流する姿を見て、今後更にどのような力を身に付けていく必要があるかを確認することができたので、授業改善に活かしたい。